

東日新聞

TONICHI NEWS

発行者/東海日日新聞社

<http://www.tonichi.net>

〒440-0874 愛知県豊橋市東松山90番地 TEL.0532-53-2800 FAX.0532-53-7222 E-mail post@tonichi.net

三板
田中屋



地域を笑顔に――

②市民病院へ接続不十分 ⑩多彩な効果実証 2年目に弾み
豊川市がコミュニティーパ 東三河モーニング街道研究
ス利用状況発表。 会が初年度成果発表。

⑦色の力や癒やし伝えたい ⑪「すわポン」大人気!
豊橋在住のイラストレーター 「アリオ」ですわポン緑日開
催。多彩な催しで盛況。
・富田雅臣さん個展PR。

市民後見フォーラム



成年後見制度のあり方について話し合ったパネルディスカッション(あいトピアで)

成年後見制度のうち、専門職以外の人たちが参加する市民後見人の役割を考えるフォーラムが3月31日、豊橋市総合福祉センター(あいトピア)で開かれた。専門家らは、地域で認知症高齢者が増えている中で、市民感覚で後見制度を担う市民後見人の必要性を訴えた。市民後見センターとよほし主催、東海日日新聞社など後援。

認知症高齢者や知的・精神障害者など、判断能力が不十分な人に代わって財産管理や各種の契約を結ぶ市民後見人のあり方について理解を深めようと、初めて開催。会場にはこまどりの会の斎藤健三郎さんが基調講演を行った。

約100人の聴衆が詰め掛けた。第1部では、品川区社会福祉協議会品川成年後見センター所長の斎藤修一さんと、市民後見センターの内藤健三郎さんが基調講演を行った。

斎藤さんは、後見制度を必要としている人が全国で600万人いるのに対し、実際利用者が23万人にとどまっている現状を紹介。最近は都市化の進行に伴い、家族の支援を得られない1人暮らしの認

「市民後見人は本人とよくコミュニケーションを取り、アライドを傷つけないことが一番大事だ」とも指摘。一部から「後見制度が金持ちのための制度になつていて」と批判されていることは、「市民感覚での支援が求められている」と市

は約17万人しかおらず、潜在的需要の600万人にはとても足りない状況。斎藤さんは「きめ細かく

とりあえずお好きな曲を「両手」で一曲
ピアノ(キーボード)科
・入学随時・完全個別レッスン(個人別スケジュール)・1,500円/回(時間)
大人のための 音楽教室
豊橋市魚町86(神明公園西)
TEL(0532) 56-0860
(中嶋真吾)

市民後見人

世間の認知低い実態も 豊橋でフォーラム

専門家ら必要性強調

民後見人の必要性を強調した。内藤さんは成年後見制度の取り組み事例を話した。保険会社の担当者が制度目録を知らない、銀行の幹部クラスの人にも制度への誤解があり、お金の引き出しを止められたことなど、まだ世間で制度が認知されていない実態を語った。第2部は、市民後見人に対する地域での役割をテーマにしたパネルディスカッション。主催団体代表の加藤政実さんをコーディネーターに、斎藤さんと内藤さんが意見を交わした。司法書士や弁護士など専門職で成年後見登録をしているところが、見極め、必要としているときにきめ細かく対応することが必要」と訴え、ごく普通の生活者としてもサポートすれば、それが十分なサービスになる」と強調した。